

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（52 2115）までお知らせください。

運動不足の解消に向けて (5月17日)

運動不足の解消と最近関心が高まっているメタボリックの予防に効果がある「ノルディックウォーキング」の講習会が、教育委員会の主催により行われました。ノルディックウォーキングは、スキーのストックを使いながら歩くもので、参加した皆さんは、講師の角幡和子さん（富良野市在住）の指導により、ストックを使った柔軟体操や、歩き方の基本を学んだあと、やわらぎ公園の散策路などを利用して実技を行いました。この日は、天気もよく、参加した皆さんは、練習を重ねて軽快に歩きながら、心地よい汗を流していました。



串内牧場で入牧始まる (5月22日)

富良野広域連合公共串内牧場で牛の入牧が始まりました。今年、町内をはじめ富良野沿線市町村と当別町や北広島市などから、乳牛や肉牛合わせて約1300頭が次々とトラックで運び込まれ、大きな声で鳴きながら、元気に飛び跳ねていました。入牧した牛たちは、10月下旬までの5か月間、あざやかな緑の牧草を食べながら、広大な放牧地でのんびりと生活します。



手足を泥まみれに田植え(5月27日)

農業を体験しながら、働くことの大切さや物をつくる喜びを学ぼうと、下金山小学校の児童8名と金山小学校の児童9名が合同で田植えを体験しました。この日は、肌寒い天気で、水田の中に入ると水が冷たかったようですが、寒さにも負けず児童の皆さんは、手足を泥まみれにしながら丁寧に「はくちょうもち」の苗を植えていました。作業を終えた児童の皆さんは「楽しかった。」と笑顔で話していました。秋には、合同で稲刈りを行うとのことで、児童の皆さんは今後の生育が楽しみな様子でした。



新緑のコースでナイスショット(5月24日)

第1回道新おがわ杯パークゴルフ大会が、やわらぎ公園パークゴルフ場で行われ、参加した皆さんは、新緑のコースでプレーを楽しみました。この日は、気温が低くとても寒い中での大会となりましたが、参加した28名の皆さんは、8組に分かれて、18ホールをまわり、大きな声を出しながら元気にプレーしていました。競技の結果、男子の部は、伊藤和夫さん（幾寅）、女子の部は、高津孝子さん（幾寅）が優勝しました。



ファイターズに熱い声援を送る (5月31日)

北海道日本ハムファイターズ南富良野町応援団（植村通彦団長）による今年度2回目の応援ツアーが開かれ、札幌ドームで行われた対阪神タイガース戦を観戦しました。応援ツアーには、小中学生を含む45名の団員が参加し、メガホンを両手に持ち、ファイターズへ熱い声援を送りました。試合は、5時間を越す大熱戦となり、延長12回4対4で引き分けとなりましたが、応援団の皆さんは、最後まで熱い声援を送っていました。応援団では、今後の応援ツアーとして、8月30日に行われる対ソフトバンクホークス戦を観戦する予定となっています。

老人クラブの皆さんが熱戦を展開 (6月12日)

町老人クラブ連合会のゲートボール大会が行われ、町内各地区の老人クラブで構成された6チーム37名の選手の皆さんが参加し、上位3チームに与えられる富良野沿線老人クラブ選抜ゲートボール大会への出場権をかけて、熱戦が展開されました。競技の結果、優勝は落合新生チーム、第2位は金山ひなげしチーム、第3位は下金山しらかばチームとなりました。



「ユウパリコザクラの会」町内の中高生に記念誌を寄贈(5月27日)

本町に隣接する夕張岳の自然保護活動に取り組んでいる「ユウパリコザクラの会」（藤井純一会長）が、今年で創立20周年を迎え、20周年記念誌「ようこそ花の夕張岳へ」を発刊され、記念事業の一環として、夕張岳の天然記念物指定の際に本町も協力をしたことを受けて、町内の中高生に記念誌が贈呈されました。贈呈式には、同会事務局の水尾君尾さんと秦野公彦編集委員長が来町し、生駒俊夫教育長に記念誌が手渡されました。この記念誌は、同会の保護活動の記録のほか、夕張岳の貴重な自然に関する写真などが収録されており、「次代を担う子どもたちに、夕張岳の豊かさ、自然の大切さを感じてほしい」との思いを込めて製作されたもので、記念誌は102冊寄贈され、町内の中高生がいる全家庭に配布されました。



サマージャンボ宝くじ 1等前後賞合わせて3億円

賞金：1等2億円、前後賞各5千万円
2等1億円
発売期間：7月13日(月)から7月31日(金)まで
抽選日：8月11日(火)

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

